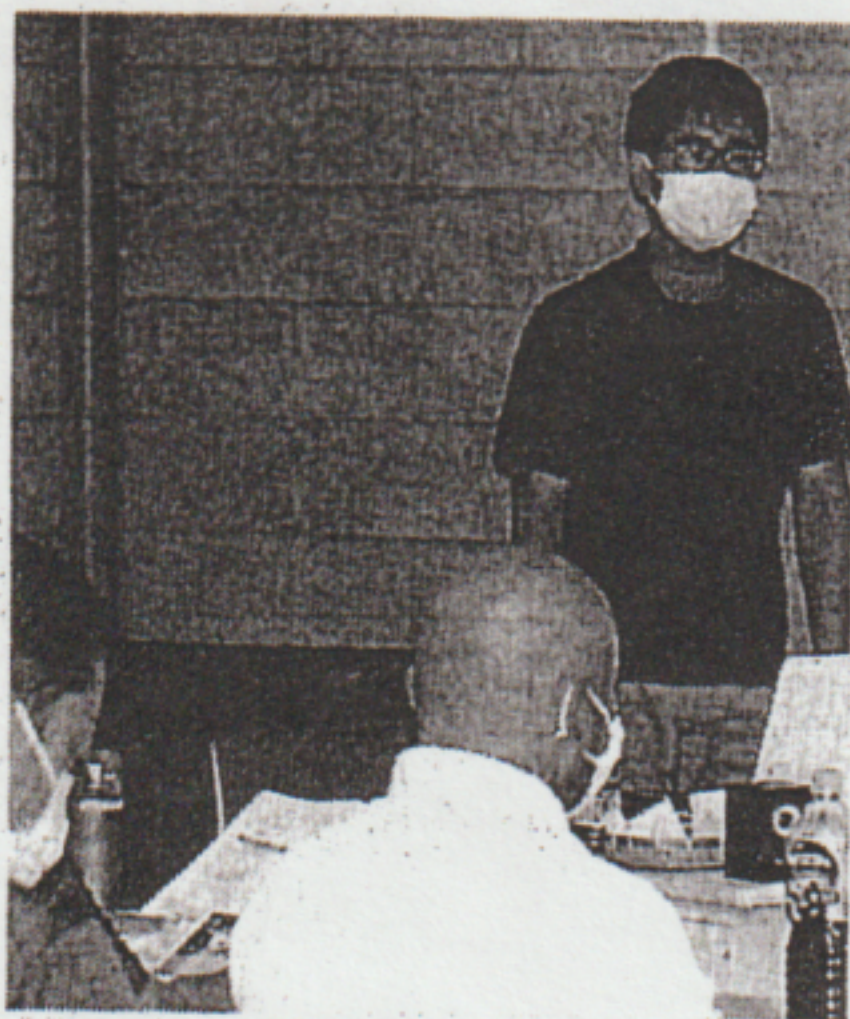


農福連携 意義伝える



講演する竹内代表
(恵庭市で)

道央農業振興公社は9月中旬、道央地域農業版ジョブコーチ育成研修会を恵庭市の同公社で開いた。農業関係者や福祉関係者ら24人が出席した。合同会社「竹内農園」(北広島市)の竹内巧代表らが講師を務め、農業の基礎的な知識や障害者の

道央農業振興公社が ジョブコーチ育成研修

の特性などに関する基本的な知識を習得した。

竹内代表は「農業者と障害者が、気持ち良く仕事をできるのが農福連携。農業者の作業の効率化にも。つながる関係団体と情報を共有し、この取り組みをアピールしていきたい」と強調した。

道央地域の4市(江別・北広島・恵庭・千歳)では、今後も研修会などを積極的に進めたい考えだ。農福連携の意義や基本を広く知ってもらうための取り組みを継続する。

(道央)